



私達は

日本におけるジェネリック農薬の適切
かつ迅速な開発と低コストを目指し、
積極的に取り組みます。

ジェネリック農薬とは

農薬は莫大な費用と時間をかけて開発されているため、特許制度により、開発した会社が原則20年間は独占的に販売できるようになっています。

しかし、特許期間が過ぎた後は、他の会社が少額の開発費で、同有効成分の農薬を安価に製造し、販売できるのが、ジェネリック農薬となります。

JAグループでは、先駆けて2つのジェネリック農薬(ジェイエース剤ならびにペンコゼブ剤)を開発してきました。また、平成29年4月に農薬登録制度が変更となり、ジェネリック農薬が安価に開発しやすくなったことから、令和6年の販売を目指し、新たなジェネリック農薬の開発に着手しております。

さらなる生産資材価格の引き下げに貢献できるよう、引き続き取り組みを強化していきます。

JAグループが開発してきたジェネリック農薬

<汎用性園芸殺虫剤>



ジェイエース

有効成分:アセフェート

【コンセプト】

○幅広い害虫に対して効果を示す。

<汎用性園芸殺菌剤>



ペンコゼブ

有効成分:マンゼブ

【コンセプト】

○べと病・疫病を中心に幅広い病害に対して効果を示す。

○耐性菌発達の可能性が少ない。



担い手直送規格



JA全農では、農薬のコスト低減を目指して、大型規格よりもさらに大きく、お得な「担い手直送規格」を販売しています。

この担い手直送規格は、スケールメリットに加え、「完全受注生産」「メーカーからの直接配送」など徹底した物流コストの削減により、大幅な価格引下げを可能にしました。

引き続き県内生産者の皆様に周知し、農薬のコスト低減に貢献していきます。



※水稲除草剤のイメージ

1kg規格	大型規格	担い手直送規格
10a	1ha	4~5ha
1kg規格とのコスト比較	約1割 お得!	約3割 お得!

※1 水稲除草剤の場合

※2 コスト比較は異なります

大型規格も多数取り扱っております!!

